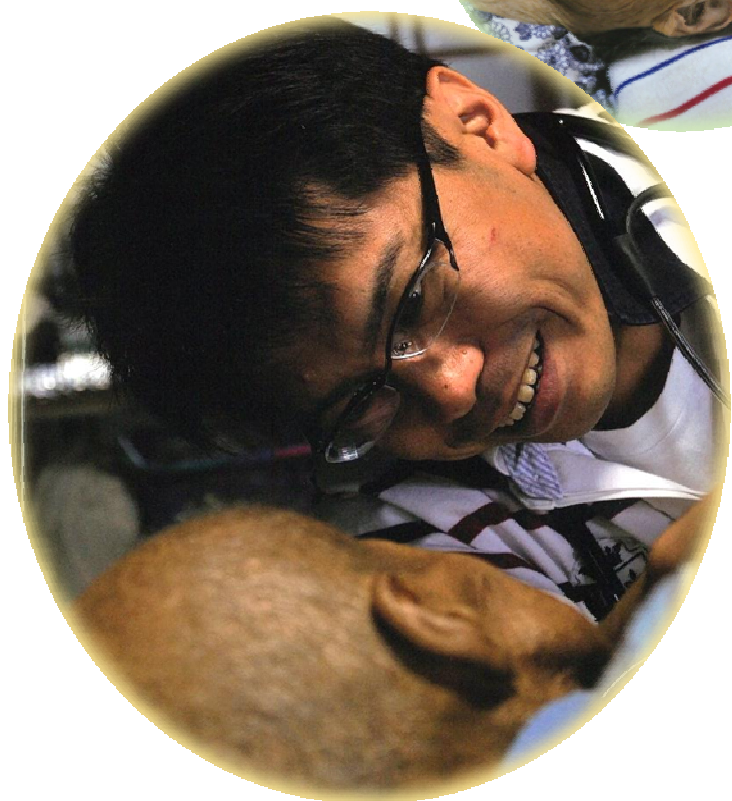


國森 康弘 写真展

～いのちつぐ
「みとりびと」～



だれもが「みとりびと」

看取りは、いのちのバトンリレー。
それは、亡くなる人が代々受けつぎ、
自身の人生でもたくわえてきた、
あふれんばかりの生命力と愛情を
私たちが受け取ること。

そして

いつか自分が「旅立ち」を迎えたときに、
愛する人に手渡していくこと。

大切な人たちに囲まれた
あたたかな看取りによって、
いのちのバトンは
ずっと受けつがれていきます。

会期：2012年7月7日(土)～8月12日(日)

場所：永源寺図書館 ギャラリー・視聴覚ホール

▼講演会のご案内

8月4日(土) 午後2時～ 視聴覚ホールにて

『いのちつぐ「みとりびと」～永源寺地域での学び～』

※お申込みが必要です

講演会終了後

音楽のひととき

わ音…森野 裕香里&井上 克己

親子ほど年齢の違う二人が
それぞれの日常の中で感じた
思いを重ね合わせながら
その思いを音楽に乗せて
お届けします

お問い合わせ・お申込み 東近江市立永源寺図書館

TEL：0748-27-8050 IP：0505-801-8050 FAX：0748-27-8090

【開館時間】10:00～18:00 【休館日】月曜日・火曜日・祝日・第4金曜日



講演会：8月4日（土）
14：00～14：45
『いのちつぐ「みとりびと」』

～永源寺地域での学び～

定員：50名…お申し込みが必要です

写真家、ジャーナリスト。1974年生まれ。滋賀県在住。

京都大学経済学研究科修士課程修了、神戸新聞記者を経て、イラク戦争を機に独立。イラク、ソマリア、スーダン、ウガンダ、ブルキナファソ、カンボジアなどの紛争地や経済貧困地域を回り、国内では、戦争体験者や野宿労働者、東日本大震災被災者の取材を重ねてきた。「あたたかで幸せな生死を伝えたい」と、近年では看取り、在宅医療、地域包括ケアの撮影に力を入れ、滋賀・永源寺地域の花戸貴司医師らに同行取材している。

2011年度上野彦馬賞グランプリ受賞。

詳細はホームページ（<http://www.kunimorifoto.net/>）にて。

著書に『証言沖縄戦の日本兵―六〇年の沈黙を超えて』（岩波書店）、『家族を看取る―心がそばにあればいい』（平凡社）。近著に『いのちつぐ「みとりびと」』全4巻（農文協）がある。

だれもが「みとりびと」

看取りは、いのちのバトンリレー。
それは、亡くなる人が代々受けつぎ、
自身の人生でもたくわえてきた、
あられんばかりの生命力と愛情を
私たちが受け取ること。

そして

いつか自分が「旅立ち」を迎えたときに、
愛する人に手渡していくこと。

大切な人たちに囲まれた
あたたかな看取りによって、

いのちのバトンは
ずっと受けつがれていきます。

▼講演会終了後



音楽のひととき 15：00～15：45

わ音……森野 裕香里（Vo.・Key）&井上 克己（Vo.・G）

2008年に滋賀県立盲学校で出会い、さまざまな形で共に音楽活動を行う。

2011年8月に「わ音」（ユニット）を結成。

～親子ほど年齢の違う二人が、それぞれ日常の中で感じた思いを重ね合わせながら、
その思いを音楽に乗せてお届けします～



お問い合わせ・お申込み 東近江市立永源寺図書館

〒527-0231

東近江市山上町 830-1

TEL: 0748-27-8050 FAX: 0748-27-8090

IP: 0505-801-8050

【開館時間】10：00～18：00

【休館日】月曜日・火曜日・祝日・第4金曜日（7/18は振替休館）

